

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誰もがすこやかにいきい きと暮らせるまちづくり	子ども・子育て支援	2	充実した就学前教育・子育て環境の 提供
事業名	保育所維持管理事業・認定こども園維持管理事業		担当課名	こども育成課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
保育サービスの充実を図るため、保育所の円滑な運営に必要な施設の維持管理を行うことにより、子どもの最善の利益を考慮して、その生活と健全な発達を保障するとともに、保護者の仕事と子育ての両立及び地域の一般家庭への子育てを支援し、児童福祉の充実を図る。
(事業概要等)

保育所・認定こども園の施設及び整備など、園所の円滑な運営に必要な維持管理を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	70,554	96,687	93,636	99,794	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
保育所運営率:年間に正常な運営をした日数/年間運営日数	%	100	100	100	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
建物の老朽化が進んでいる中で、保育所及び認定こども園の運営に必要な最低限の施設維持管理は堅持している。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	建物の老朽化が激しく、維持管理に必要な予算も限られているため、可能な範囲で職員が時間を作り修繕を行っている。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	建物の老朽化が激しく、簡易修繕だけでは対応できなくなっている。今後、大規模修繕や改築等が必要になると考える。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 施設の老朽化が加速度的に進行する中で、保育所の維持管理も比例するかたちで増大するが、大規模な改修工事をすることで、維持管理の対象が減少することが見通されるため。
改革・改善策等の具体的な内容	長期的な視野をもって、今後の施設の在り方を検討し実施するところ。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	子ども・子育て支援	2	充実した就学前教育・子育て環境の提供
事業名	民間認定こども園等運営補助事業		担当課名	こども育成課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

保育サービスの充実を図るために、民間認定こども園が実施する保育内容の充実を図るために事業を補助することにより、子どもの最善の利益を考慮して、その生活と健全な発達を保障するとともに、保護者の仕事と子育ての両立及び地域の一般家庭への子育てを支援し、もって、児童福祉の充実に資する。

(事業概要等)

民間認定こども園が実施する泉大津市民間認定こども園運営費補助金交付要綱第3条及び別表に定める事業に対して補助を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	73,873	73,899	86,172	89,156	
うち市負担分(千円)	37,657	29,681	60,648	71,094	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
事業実施率(実施事業数 / (事業数 × 施設数))	%	73	71	77	77
(指標を設定できない理由)					

(成果の概要)

要綱第3条及び別表に定める事業(事業数: 8)のうち、運営事業、学校医手当加算、園外保育事業、延長保育事業については100%の実施状況にある。一方、障害児保育・軽度障害児保育対策については、入所児童によって増減するものであり、一概に成果を求めるることは難しい。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	より効果が上がるよう内容や基準額の精査が必要であるが、国や府による補助事業の内容により影響される部分が多く、補助事業実施に伴う成果が図りにくい。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 事業効果(成果)の判断を踏まえ、現状を維持することが適切と評価されるため。
	改革・改善策等の具体的な内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誰もがすこやかにいきい きと暮らせるまちづくり	子ども・子育て支援	2	充実した就学前教育・子育て環境の提供
事業名	認可外保育施設健康診断助成事業		担当課名	こども育成課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

認可外保育施設の保育の充実を図る為、認可外保育施設に従事する職員に対し、健康診断を実施することにより、利用する児童の衛生・安全を確保し、児童の健全育成に資することを目的とする。

(事業概要等)

認可外保育施設を利用する児童の衛生・安全対策事業として、認可外保育施設の保育従事者及び調理担当職員の健康診断に要する経費の一部を補助金として交付する。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	63	59	59	126	
うち市負担分(千円)	35	31	23	42	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
事業実施率(事業実施保育所数/無認可保育所数)	%	100	100	100	100
利用者数	人	10	16	16	30
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
本市に所在する認可外保育施設に対して100%実施することができた。また、利用職員数も10人を超えていであることから、認可外保育施設を利用する児童の衛生や安全の確保、更には健全育成に資するものになっていると判断する。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	利用促進のため各認可外保育所に対し制度の説明を行い、保育士の健康管理が子ども達の衛生環境に大きく関わることについて啓発し、制度についての理解を得られた。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	補助健診項目の内容を感染症(結核、赤痢、サルモネラ菌、O-157)の有無に限定していることから、通常の健康診断以外に受ける必要があること等が課題として挙げられる。又、保育士等の入れ替わりも多く、制度の周知の引継が行われていない。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 国の動向では認可外保育施設の整備や企業参入、保育ママ等を広めていくという方向性が示されていることから、本市も待機児童解消を含めた整備計画を新たに作成し、児童健全育成の観点からも健康診断補助事業等の拡大も視野に入れていることから、現状を維持することが適切と考えている。
改革・改善策等の具体的な内容	認可外保育施設に対し、補助金活用の周知徹底を図る。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誰もがすこやかにいきい きと暮らせるまちづくり	保健・医療	1	健康づくりの増進
事業名	あしゆびプロジェクト事業		担当課名	こども育成課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちを目指し。子どもたちに対し、足指の運動を中心とした取組を行うことを通じ、足部のトラブルを未然に防止し、正しい育成を促すとともに、怪我をしない身体や正しい姿勢を習得できる環境作りを進める。
(事業概要等)

あしゆびケア・おずみんあしゆび体操・体幹バランス体操を保育所、幼稚園、認定こども園の4・5歳児で、日々の教育、保育に取り入れていく。またモデル園での計測(足長、足囲、足幅、足裏圧力測定、25m走、足指把持筋力、足指柔軟性、立ち幅跳び、開眼片足立ち)と分析を行う。また、体幹バランス体操等の講習会を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	2,694	759	2,908	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
あしゆび研修会参加人数	人	0	51	77	100
あしゆび測定人数(延べ)	人	0	220	111	120
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
幼・保・認の職員対象にあしゆびプロジェクトパートナーシップメンバーである整形外科医師による研修会を実施することで、あしゆびを鍛えることが身体に与える影響を体験する良い機会となった。あしゆびの測定結果について大阪体育大学による検証の結果では、あしゆび把持筋力と立ち幅跳びと25m走について、あしゆび力と運動能力の向上との関係性が見られるということがわかった。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	園児を測定し、効果検証していくにあたって、同じ検者を継続して測定し、追っていくことが難しい。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) あしゆびを鍛えることで、子どもの健康や運動能力向上が期待できるため。
改革・改善策等の具体的な内容		保育士等に対しあしゆびの知識を取り入れた体操を習得してもらうため、保育士等への指導も取り入れ進めて行く。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向	
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	就学前・学校教育	3	学校教育の充実	
事業名	教育実習受入事業(こども育成課)		担当課名	新 旧	こども育成課

【事業の概要】

事業期間	開始年度	平成28年度	~	終了年度	会計区分						
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業の執行方法	<input checked="" type="radio"/> 直営 <input type="checkbox"/> 市民との協働	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 全部委託					
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input checked="" type="radio"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り	(具体的な法令、条例名等) 学校教育法・学校教育法施行規則・学習指導要領									
(事業の目的・趣旨) 泉大津市立の幼稚園において、幼稚園教諭免許の取得を目的とする実習生を受け入れる場合に、当該実習生の所属する大学等から支払われる謝礼金の取り扱いに関し、必要な事項を定めることにより、実習の適切かつ円滑な指導運営に資することを目的とする。											
(事業概要等) 幼稚園等において、幼稚園教諭免許の取得を目的とする実習生を受け入れ、将来教職に就くための資質の向上を図るための指導を行う。											

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	293	210	300	210	
(参考) 財源内訳	国庫支出金				
府支出金					
地方債					
その他特定財源					
(千円)	受益者負担・商品分布収入等				
令和元年度事業費内訳(単位:千円)					費目
					金額
需用費					300

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
幼稚園実習生	人	30	30	30	30

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

適切な実習の受け入れを行うことができており、幼稚園教諭免許試験の合格に繋がっている。

[業務効率化の可能性]

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能	IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない	
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

[これまで実施した事務の見直し点]

これまでの 改善点	実習の受け入れにかかる謝礼金の取り扱いを平成27年度よりこども未来課に一本化、平成30年度よりこども育成課に移管した。また、大学等への連絡を事前に行うことで謝礼金の納金を円滑に行なうことができている。
--------------	--

[課題(問題点)]

課題(問題点)	特にございません。
---------	-----------

[今後の方向性]

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 幼稚園教諭免許の取得を目的とする実習生を受け入れ、次世代の教諭を育成すること、および教諭としての資質を見極めるため、幼稚園等における実習は必要である。
改革・改善 策等の具体 的内容		特にございません。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	就学前・学校教育	3	学校教育の充実
事業名	児童等健康管理事業(こども育成課)	担当課名	新 旧	こども育成課

【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	会計区分				
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業の執行方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り		(具体的な法令、条例名等) 学校教育法・学校教育法施行規則・学習指導要領					
(事業の目的・趣旨)								
幼稚園における園児及び教職員の健康の保持増進を図るために保健管理とともに、教育活動が安全な環境において実施され、園児等の安全確保を図るために安全管理に関する措置を講じ、教育の円滑な実施に資することを目的とする。								
(事業概要等)								
・園児・教職員の健康保持増進に関する事(学校医等の配置、各種健康診断の実施及び委託等) ・学校管理下における怪我、不測の事態に対する環境整備(AEDの設置、日本スポーツ振興センター等)								

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	5,730	4,748	3,967	4,394	
〔参考〕 財 源 内 訳 (千 円)	国庫支出金				
	府支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	受益者負担・商品分布収入等				
令和元年度事業費内訳(単位:千円)		費目			金額
					3,047
		報酬			218
		報償費			25
		需用費			41
		役務費			347
		委託料			183
		使用料及び賃借料			106
		負担金、補助及び交付金			

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
健康の保持・保健管理のために実施そのものが法で定められた健康診断や園管理下で不測に発生した怪我等に対する備えが主な事業内容であり、数値での指標設定が困難である。					
(成果の概要)					
各種健(検)診の実施により、園児・教職員の健康保持増進を図ることができた。また、日本スポーツ振興センター等への加入などにより、特定の疾病や園管理下での怪我による受診に対し、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。					

【業務効率化の可能性】

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能	IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない	
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

【これまで実施した事務の見直し点】

これまでの 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興センターの給付金について、支給事務の透明化と学校事務の負担軽減を図った。 ・予算措置にあたって、従前から学校給食事務に係る予算が含まれていたことから、経費区分の整理を行い、事業費の明確化を図った。
--------------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員対象の健(検)診について、より効果的な実施方法の検証 ・AEDのパッドやバッテリーの交換時期、AED本体の更新時期が園によって異なることから、効率的な管理方法の確立
---------	---

【今後の方針】

担当課の 評価	<p>(左記評価の理由)</p> <p>A 現行どおり</p> <p>法に定められた各種健(検)診を実施するとともに、幼稚園、健康福祉部、教育委員会、医師のより一層の連携により、園児・教職員の健康保持増進に取り組む。</p>
改革・改善 策等の具体 的内容	教職員対象の健(検)診について、実施日程の拡大など、授業など教育活動を踏まえ、より受診しやすい環境を整えられるよう検討する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向	
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	就学前・学校教育	3	学校教育の充実	
事業名	幼稚園維持管理事業		担当課名	新 旧	こども育成課

【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	会計区分				
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業の執行方法	<input checked="" type="radio"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他				
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り		(具体的な法令、条例名等) 学校教育法					
(事業の目的・趣旨)								
幼稚園施設は、昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く、老朽化が進み、安全対策が必要となっている。また、近年、他市においては幼稚園に不審者等が侵入するなど、園児や教職員の安全確保や通園路における交通安全などが課題となっており、幼稚園環境における安全・安心の取組みが必要となっている。								
(事業概要等)								
幼稚園児の安全・安心な学習環境の確保のために、園舎の改修や修繕等を実施するとともに、幼稚園の正門の適正な管理と来校者の受付・確認を行うことにより不審者の侵入を未然に防止するなど、園児の安全確保に取り組んでいる。								

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	16,046	11,940	11,129	20,590	
[参考] 財源内訳	国庫支出金				
府支出金					
地方債					
その他特定財源					
受益者負担・商品分布収入等					
令和元年度事業費内訳(単位:千円)	費目			金額	
	需用費			5,395	
	役務費			3,476	
	委託料			2,258	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値
不審者の侵入件数	人	0	0	0	0

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

幼稚園の正門の適正な管理と来校者の受付・確認を行うことにより、不審者の侵入を防止することができた。

[業務効率化の可能性]

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能	IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない	
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

[これまで実施した事務の見直し点]

これまでの 改善点	・非常通報装置(H14~)(令和2年度中に更新予定) ・校門見守り員の配備(H17~)
--------------	--

[課題(問題点)]

課題(問題点)	幼稚園施設については、昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く、老朽化が深刻な課題となっている。また、限られた予算内において、年次計画的かつ可能な限り早急に、安全面や機能面の改善を図ることが課題である。
---------	--

[今後の方向性]

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 年次計画的かつ可能な限り早急に改善が必要である。
改革・改善 策等の具体 的内容		長期的な視野をもって、今後の施設のあり方を検討し実施するところ。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向	
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	就学前・学校教育	3	学校教育の充実	
事業名	幼稚園施設整備事業		担当課名	新 旧	こども育成課

【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	会計区分			
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業の執行方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> その他			
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り	(具体的な法令、条例名等) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第30条、学校教育法第5条泉大津市立学校園条例第5条					
(事業の目的・趣旨)							
幼稚園の環境整備及び維持管理を継続的に実施することにより、良好な教育環境の保持を図ることを目的とする。							
(事業概要等)							
公立幼稚園(条南幼稚園)の下水道切替工事							

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	7,448	815	5,608	
(参考) 国庫支出金					
財源内訳					
府支出金					
地方債					
その他特定財源					
(千円)					
受益者負担・商品分布収入等					
令和元年度事業費内訳(単位:千円)					費目
					金額

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)
条南幼稚園の下水道切替工事を実施し、当該園の衛生環境の改善を進めることができた。

[業務効率化の可能性]

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能	IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない	
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

[これまで実施した事務の見直し点]

これまでの 改善点	特にございません。
--------------	-----------

[課題(問題点)]

課題(問題点)	特にございません。
---------	-----------

[今後の方向性]

担当課の 評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 長期的な視野をもって、今後の施設のあり方を検討し実施するところ。
改革・改善 策等の具体 的内容	特にございません。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向	
	学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	就学前・学校教育	3	学校教育の充実	

事業名	幼稚園耐震化事業	担当課名	新 旧	こども育成課
-----	----------	------	--------	--------

【事業の概要】

事業期間	開始年度	平成28年度	~	終了年度	会計区分				
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="radio"/> 企業 <input type="checkbox"/> その他	事業の執行方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 市民との協働	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> その他				
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input checked="" type="radio"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り	(具体的な法令、条例名等) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第30条、学校教育法第5条泉大津市立学校園条例第5条							
(事業の目的・趣旨)									
幼稚園の環境整備及び維持管理を継続的に実施することにより、良好な教育環境の保持を図ることを目的とする。									
(事業概要等)									
公立幼稚園の施設の耐震診断、耐震設計及び耐震改修工事。									

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (決算見込額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,994	2,949	61,533	0	
(参考) 財源内訳(千円)					
国庫支出金					
府支出金					
地方債					
その他特定財源					
受益者負担・商品分布収入等					
令和元年度事業費内訳(単位:千円)					金額
委託料					2,028
工事請負費					59,505

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	29年度 実績値	30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 目標値

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)
旭幼稚園の耐震診断、耐震改修工事を実施し、当該園の安全面について確認することができた。

[業務効率化の可能性]

アウトソーシングの可能性	アウトソーシング済 (全部、一部含む。)	アウトソーシング可能 (全部、一部含む。)	アウトソーシング 不可能
IT化等の可能性	IT化等により業務の効率化が 可能	IT化等による業務の効率化は 現時点では望めない	
庁内事業との 統合・連携の可能性	類似事業があり 統合・連携可能性あり	類似事業はあるが 統合・連携可能性なし	類似事業なし

[これまで実施した事務の見直し点]

これまでの 改善点	特にございません。
--------------	-----------

[課題(問題点)]

課題(問題点)	特にございません。
---------	-----------

[今後の方向性]

担当課の 評価	D 休止・廃止	(左記評価の理由) 幼稚園の耐震化事業については、現状運営している4園について、全て終えたため。
改革・改善 策等の具体 的内容	特にございません。	